

第43回(公社)宮城県芸術協会音楽コンクール ピアノ部門 予選

上級A 予選通過者番号

1	3	5	9	10	12	14			
---	---	---	---	----	----	----	--	--	--

審査講評: 横山 留美 審査員長

皆さん、今日は如何でしたか。自分の思いを、心を込めて演奏できましたか。

さて、審査員一同で、皆さんの演奏に対する今後の課題を話し合いました。簡潔にお話しします。調性音楽において、調性とハーモニーは不可分の関係にあります。大きなフレーズのまとまりを、ハーモニーの変化の中で理解すると、小さな楽句も生き生きと具体的に表現できるようになると思います。テンポや左右の手の動きもコントロールしやすくなるでしょう。そこでとても大切なことは身体と呼吸が自然な音の運びを行ってあげることです。会場によってはペダルの問題等、沢山お話ししたいことはあるのですが紙面上ここまでといたします。最後に、今日本選に進むことができなかった人たちも、このコンクールをひとつの貴重な体験としていただければと思います。これからも音楽と共に在る事を願っています。

上級B 予選通過者番号

1	2	5	6	8	11	13			
---	---	---	---	---	----	----	--	--	--

審査講評: 横山 留美 審査員長

今日は皆さんの日々の努力の成果を発揮する日となりましたね。心を尽くす事ができましたか。私たち審査員一同は、全体的に演奏の質が高く、大変聴き応えのある演奏だと感心しておりました。

さて、今後の課題です。作曲家によって音色や音楽の佇まいが異なります。具体的に表現するためには、ペダリング、ダイナミクスやバランスのための耳と、テクニカルの両面の研鑽を積んで欲しいと思います。また、残響の多いホールでの演奏は、タッチ、ペダルのコントロールに苦慮するところですが、経験を重ねながら学び続けてください。練習の方法を工夫したり、時代背景や他の分野の芸術の理解を深め、今後更なる成長を期待しております。